

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.19

2013/07

今回は合併がテーマです。今年、『三井住友銀行十年史』が刊行されたので、三井住友銀行を例に見ていきます。

2001年に発足した三井住友銀行は、住友銀行とさくら銀行が合併して誕生しました。『三井住友銀行十年史』には、両行の合併の経緯はもちろんですが、第1章では、太陽神戸三井銀行の発足（1990年）とさくら銀行への行名変更（1992年）についても触れられています。太陽神戸三井銀行・さくら銀行が刊行した社史は、期間が短かったためか所蔵していません（未刊行とは断言できないだけです。以下同）。

記録された合併の歴史とは

住友銀行は『住友銀行百年史』を1998年に刊行しています。住友銀行はそれ以前にも何冊か社史を出しています。過去に行われた大小いくつかの合併も記録されています。

太陽神戸三井銀行は1990年に三井銀行と太陽神戸銀行が合併して発足しました。三井銀行も『三井銀行 一〇〇年のあゆみ』など何冊かの社史を出していて、戦時中の第一銀行と合併による帝国銀行の発足な

どについても触れられています（戦後に分離）。合併相手の第一銀行の社史からも調べることができるでしょう。

また1957年刊行の『三井銀行八十年史』には、別編「十五銀行小史」を設け、帝国銀行時代に合併した十五銀行の歴史を百ページ以上載せています。

一方、太陽神戸銀行は、太陽銀行と神戸銀行が合併して1973年に発足しました。太陽神戸銀行のまとまった社史は所蔵していませんでした。太陽神戸銀行の歴史や合併に至る流れを社史で知りたくても、当館では残念ながら調べられないのです。

（裏面へ）

三井住友銀行を社史で遡る

(表面から)

太陽銀行は1968年に日本相互銀行が改称して発足しました。1967年には『日本相互銀行史』が刊行されていて、同行の前身の大日本無尽株式会社についても詳しく記されています。

神戸銀行は1958年に『神戸銀行史』を刊行しています。1936年、兵庫県の七つの銀行が合併して神戸銀行が発足しましたが、その前史についての記載はありませんでした。

以上のように、三井住友銀行を例にして、社史で歴史を遡ってみました。社史に記載されるべき歴史が、さまざまな状況での合併によって消えてしまったり、空白の時期が生じてしまうことも多くあるのだと感じました。

ただ、社史担当の立場としては、合併しておしまいでなく、会社の歩みを何らかのかたちで記録してほしいように思いました。(自治体の合併などにも当てはまることですが……)。

(科学情報課・高田)

装丁の凝った社史、入荷!

新着の『千島土地株式会社設立一〇〇周年記念誌』(2012年刊行)を手にとって、すぐ「社楽」で紹介しなくては、と思いました。関西などで不動産経営をし、飛行機リースを営み、大阪の水辺にアヒルのオブジェを浮かべるプロジェクトなどにも携わる多角的な企業です(本社は大阪市住之江区)。

まず目についたのは、小さなグラデーションの布に包まれた5冊の英語版の小冊子です。飛行機やアヒルなどの飛び出す仕掛けになっていました。

本編の装丁もグラデーションの色合いがきれいです。外函の内側までグラデーションで印刷されていました。「ここにある」という絵本風の物語からはじまり、会社の歴史も図版を多用してわかりやすかったです。安藤忠雄さんら著名人も寄稿されています。また、創業家の「芝川家の歴史」も読みやすく、巻末の「資料編」には年表・索引も充実です。

ぜひ社史室でご覧ください(英語版小冊子は館内閲覧のみです)。



●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話: 044-233-4537 FAX: 044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>